

研究活動 Research Activities

各研究者ごとの研究活動を[展覧会の企画・構成],[著書],[論文],[翻訳],[エッセイ,作品解説など],[口頭発表,講演など],[その他の活動]の7項目に分けて報告する(研究者名の五十音順)。項目は研究者によって多少の異同がある。また、これは各研究者の美術館内外での主要な研究活動の報告であり、著作目録のようにあらゆる活動を網羅することを意図してはいない。どこまで記載すべきかについて必ずしも明確な基準が設定されたわけではなく、研究者によっては大項目に絞って報告している者もいる。

河口公生/Kimio KAWAGUCHI

[論文]

“A Comparison of Three Versions of The Flight of Lot and his Family from Sodom, Rubens and his Workshop”, *The Flight of Lot and his Family from Sodom* (edited by T. Nakamura) 1994, pp.47-68, The National Museum of Western Art, Tokyo

[その他の活動]

21世紀ギャラリー(仮称)の基本設計のための建築委員(1993年11月-1995年3月)

21世紀ギャラリー(仮称)建設に伴う前庭彫刻移転並びに地獄の門の調査(1994年4月-6月)

阪神淡路大震災に際し、文化庁・全国美術館会議災害派遣を組織(当館が招聘したJ・Pゲティ美術館, 古代彫刻修復保存部長ジェリー・ポダニー氏並びに同セクション元部長で文化財災害対応の専門家バーバラ・ロバーツ氏, 当館の雪山と共に1995年2月5日-2月8日, 神戸市, 芦屋市の災害地で救援活動)

阪神淡路大震災被災文化財等救援委員会現地本部を2月17日-2月21日に設置(文化庁並びに関係国立機関, 全国美術館会議, 古文化財科学会, 日本文化財科学会, 全国歴史資料保存利用機関連絡協議会, 兵庫県教育委員会の合同による救援事業)

文部省在外研究(1995年5月-1996年9月):ロンドン大学コートールド研究所において美術作品の科学的調査方法および美術館における修復保存部門の役割についての調査研究

喜多崎 親/Chikashi KITAZAKI

[著書]

『1874年—パリ[第1回印象派]とその時代』(共著), 1994年, 国立西洋美術館(作品解説, 作家解説など)

『ギュスターヴ・モロー』(共著), 1995年, 国立西洋美術館(作品解説など)

[論文]

「パリのサン=ロック聖堂洗礼盤礼拝堂壁画に就いて—テオドル・シャセリオーの宗教画にみるオリエンタリズム—」, 『美術史研究』第32冊, 1994年, 早稲田大学美術史学会

「1874年のサロンに於ける国家買上ならびに注文作品に就いて」, 『1874年—パリ[第1回印象派展]とその時代』カタログ, 1994年,

国立西洋美術館

「甦る詩人の豎琴 ギュスターヴ・モローの《死せる豎琴》における諸神混淆的ヴィジョンの形成」, 『ギュスターヴ・モロー』カタログ, 1995年, 国立西洋美術館

「ルノワールのハーレム—国立西洋美術館蔵《アルジェリア風のパリの女達》の題名をめぐる—」, 『国立西洋美術館年報』Nos.27-28, 1996年

[エッセイ]

「詩人の嘆き」, 『視る』(京都国立近代美術館ニュース)335号, 1995年5月, pp.2-4

[口頭発表, 講演など]

「オルセー美術館に於けるドキュメンテーション活動に就いて」, アート・ドキュメンテーション研究会, 第16回研究会(日仏美術学会と共催)1994年3月22日, 日仏会館(『アート・ドキュメンテーション通信』第22号, 1994年に要旨掲載)

「第三共和制初期に於ける歴史画とその存在意義」, 1994年10月22日, 早稲田大学美術史学会西洋美術史分科会例会

「印象派とその時代」, 1994年8月6日, 朝日カルチャーセンター

「国立西洋美術館の現場から1 展覧会の見方」, 1994年10月8日, 朝日カルチャーセンター

「美術へのいざない」, 1994年10月25日, 31日, 豊島区民センター

「国立西洋美術館の現場から3 展覧会の見方」, 1995年4月1日, 豊島区民センター

「ギュスターヴ・モロー展」関連の講演会(9回), 1995年7月, 京都国立近代美術館他

「講座 19世紀 パリの美術」, 1995年9月8, 22, 29日, 10月6日, I.C.C.

[その他の活動]

第7回文化庁近現代美術専門家研修会, 国立西洋美術館, 1995年2月8日「美術館と情報II オルセー美術館におけるアート・ドキュメンテーション」; 1996年2月21日「展覧会カタログの在り方と作成」

「西洋美術研究支援画像データベースと画像処理—欧米で開発された諸ツールのわが国における応用と作品研究—」(文部省度科学研究費:一般研究B)1994年度, 波多野宏之他4名との共同研究

国立西洋美術館情報委員(美術情報システムのプロトタイプ構築)

東京国立近代美術館との共催展「交差するまなざし」準備

早稲田大学文学部非常勤講師(1995年4月-1996年3月)

幸福 輝/Akira KOFUKU

[著書]

『北方ルネサンス』(世界美術大全集第14巻/共著), 小学館, 1995年

[論文]

「写真, ナラティヴ, 祈り—初期フランドル絵画における写真の問題」, 『国立西洋美術館年報』Nos.27-28, 1996年, ppp.40-48

[エッセイ, 作品解説など]

ヤン・ボト/コルネルス・ファン・ブーレンブルフ, 《ニンフのいる風景》, 『国立西洋美術館年報』Nos.27-28, 1996年, pp.23-24

ヘルマン・ファン・スワーネフェルト, 《ヴィーナスとローマの神殿およびコンスタンティヌス凱旋門の見える景観》, 『国立西洋美術館年報』Nos.27-28, 1996年, pp.25-27

[口頭発表, 講演など]

「ベルギー王立美術館—フランドル絵画への旅」, 朝日美術講座「世界の美術館」, 1994年10月, 朝日新聞社

「写実, ナラティヴ, 祈り」, 第48回美術史学会全国大会シンポジウム「写実の実とはなにか」基調報告, 1995年5月, 同志社大学

“Herri met de Bles and some considerations on simultaneous representation in Early Flemish Painting”, Herri met de Bles Symposium, Princeton University, Art Museum, October 1995

[その他の活動]

『国立西洋美術館年報』Nos.27-28, 編集

「クロード・ロランと理想風景」(1998年秋開催予定)のための出品交渉, 調査研究

Memling Symposium, Bruges, October 1994(会議参加)

国立西洋美術館所蔵ロヒール・ファン・デル・ウェイデン《ある男の肖像》調査

カレル・ファン・マンデル『北方画家伝』の翻訳研究

明治大学政経学部および第二文学部非常勤講師(1994年4月-1996年3月)

都民カレッジにおける講義(1996年1月-3月)

越川倫明/Michiaki KOSHIKAWA

[著書]

『イタリア・ルネサンス3』(世界美術大全集13巻/共著), 小学館, 1994年

High Renaissance in the Vatican - The Age of Julius II and Leo X: English Text Supplement (共著), The National Museum of Western Art, Tokyo, 1994

『大英博物館所蔵イタリア素描展』カタログ(共著), 東京新聞, 1996年

[論文]

「Dialogo della pittura di M. Lodovico Dolce, intitolato L'Aretino: 翻訳と注解(1)」(共著), 『五浦論叢』2号(1994年), pp.2-34

“Contribution to the Drawings of Domenico Tintoretto,” 『地中海学研究』18号(1995年), pp.75-96

“Several Drawings by Jacopo Tintoretto and their Connection with His Paintings”, 『国立西洋美術館年報』Nos.27-28, 1996年, pp.48-50

[翻訳]

ブルース・コール著『ルネサンスの芸術家工房』(共訳), ぺりかん社, 1994年

ファブリツィオ・マンチネリ他著『ヴァチカン絵画館』(共訳), 岩波書店, 1995年

アレッサンドロ・チェッキ「ウフィツィ美術館の再生」, 『国立西洋美術館年報』Nos.27-28 1996年, pp.58-64

[口頭発表, 講演など]

「ドメニコ・ティントレット素描研究」, 1994年, 美術史学会東支部例

会(於東京大学)

「ヴェネツィアを描いた画家たち: 風俗画と都市景観画」, 1994年, イタリア文化会館における講演

“Some Drawings by Jacopo Tintoretto”, XIVth Convention of the International Advisory Committee of the Keepers of Graphic Art, 1994 (London, Victoria & Albert Museum)

「ドメニコ・ティントレットの初期活動について」, 1994年, ティントレット没後400年記念研究会(東北大学)

“Sulla *Maddalena penitente* della Pinacoteca Capitolina di Domenico Tintoretto”, 1994, Convegno internazionale di Studi su Tintoretto (Università degli Studi di Venezia)

“El Greco and Federico Zuccaro”, International Symposium: El Greco in Italy and Italian Art, 1995 (University of Crete, Rethymno)

[その他の出版物]

小企画展「マリオット・ディ・ナルドの聖母戴冠」解説パンフレット, (財)西洋美術振興財団, 1996年

佐藤直樹/Naoki SATO

[論文]

「神聖ローマ皇帝マクシミリアン一世と木版画—プロパガンダと記念のための版画芸術」, 『宗教改革時代のドイツ木版画』展カタログ, 1995年, pp.96-99

[作品解説]

アルブレヒト・デューラー《太陽神アポロンとディアナ》, 《アダムとエヴァ》, 『ヴァチカンのルネサンス美術』展カタログ, 1993年, pp.115-118

Lucas Cranach, “Die Enthauptung Johannes des Täufers” im Ausstellungskatalog “Glaube Hoffnung Liebe Tod”, Kunsthalle Wien, 1995, S.120-121

[その他の活動]

16世紀初頭の木版画における画像データベースモデルの作成(文化省科学研究費:一般研究B)

明治学院大学文学部非常勤講師, 1995年4月-1996年3月

高階秀爾/Shuji TAKASHINA

[著書]

『世界の中の日本絵画』(平山郁夫と共著), 美術年鑑社, 1994.

『モーツァルトの肖像をめぐる15章』, 小学館, 1995年

『西欧絵画の近代—ロマン主義から世紀末まで』, 青土社, 1996年

『川村清雄研究』(三輪英夫と共編), 中央公論美術出版, 1994年

『美術史における日本と西洋』(共著), 中央公論美術出版, 1995年

Japan and Europe in Art History, C.I.H.A. Tokyo Colloquium 1991. (Edited by), Tokyo, 1995年

『新しいアジアのドラマ』(川勝平太監修), 筑摩書房, 1994年

[論文]

「ジャポニズム概念」『モードのジャポニズム』展カタログ, 京都国立近代美術館, 1994年4月5日-6月19日, pp.8-13 (“Introduction au Japonisme”, *Japonisme et Mode*, Paris, 1996. pp.21-27)

「怪物の誕生(1)」 「怪物の誕生(2)」 「人間機械論」 「崇高」の誕生」

「踊る人形」(ロマン主義の創造力—19世紀文化論), 『ちくま』No. 281, 283, 285, 292, 296, 筑摩書房, 1994/1995年

「黒田清輝におけるオランダとイタリア」『近代画説』(明治美術学会誌)第3号, 1994年, pp.100-109

「ポスター芸術と女性像」『ポスターの歴史100年・変わりゆく女性像』展カタログ, サントリーミュージアム天保山, 1995年2月21日-4月9日, pp.6-9

「魂の夢, 思想の詩」『ギュスターヴ・モロー』展カタログ, 国立西洋美術館, 1995年3月21日-5月14日, pp.11-13

「国際化のなかの現代美術」『中央公論』4月号, 1995年, pp.218-223

「『ベル・エポック』という時代」『ガレとロートレック展—光と色のベル・エポック』カタログ, サントリーミュージアム天保山, 1995年9月7日-10月6日, pp.6-11

「美術に見る東西の自然観」『芸術に映る東西の自然観』(日独文化研究所:第4回シンポジウム), 1995年, pp.13-23

「『数奇』の美学の意味するもの」(第46回ヴェネチア・ビエンナーレ日本館をめぐって)『国際交流』70号, 国際交流基金, 1996年, pp.105-109 (“The Aesthetic of SUKI: Lessons from the Venice Biennale’s Japanese Pavilion”, *The Japan Foundation Newsletter*, vol.XXXIII/No.6, 1996, pp.20-24)

「モデルニテとは何か」『モデルニテ—パリ・近代の誕生. オルセー美術館展』カタログ, 東京都美術館, 1996年1月14日-3月31日, pp.19-22

「世紀末芸術の諸相」『世紀末と象徴主義』(世界美術大全集24巻), 小学館, 1996年, pp.9-36

「大衆社会とポスター」『世紀末と象徴主義』(世界美術大全集24巻), 小学館, 1996年, pp.429-436

「明治期歴史画論序説」『三の丸尚蔵館年報・紀要』創刊号, 1996年, pp.13-19

“Esthétique”, *Dictionnaire de la Civilisation Japonaise*, (sous la direction d’Augustin Berque), Hazan, Paris, 1994, pp.183-188

“La Découverte du quattrocento italien par les peintres japonais”, *Hommage à Michel Laclotte. Etudes sur la peinture du Moyen Âge et de la Renaissance*, Edition de la Réunion des Musées Nationaux, Paris, 1994, pp.639-641

“Does East Meet West? The Problem of Representation in Japanese and European Painting”, *Japan and Europe in Art History, C.I.H.A. Tokyo Colloquium 1991*, Tokyo, 1995, pp.9-34

“Le financement des musées au Japon”, *Musées. Gérer autrement. Un regard international*, La Documentation Française, Paris, 1996. pp.227-231

“The prehistoric roots of Japanese culture”, “Formal beauty, condition beauty”, “The Japanese and the sea”, “The wooden pagoda”, “Restoring Japanese art”, *Japan Echo*, vol.21-2, 21-3, 22-1, 22-3, 1994/1995

[翻訳]

アーサー・ダント「芸術の終焉の後の芸術」『中央公論』4月号, 1995年, pp.214-225

[翻訳監修]

グザヴィエ・ジラルール『マティス—色彩の交響楽』(田辺希久子訳), 創元社, 1995年

コリン・アイスラー『エルミタージュ美術館の絵画』(矢野陽子他訳), 中央公論社, 1996年

アンヌ・ディステル『ルノワール—生命の賛歌』(柴田都志子訳),

創元社, 1996年

[講演]

「基調講演1『まちづくりと環境セミナー '95』, 彫刻の森美術館/環境芸術研究所, 1995年, pp.11-33

「現代に問いかけるラスキン—シンポジウム」『ラスキン文庫たより』第28号, 1995年, pp.3-9

[その他の活動]

「イメージのゆくえ」(坂本満×丹尾安典×若桑みどり×高階), 『朝日美術館』(近代絵画の流れ)0号, 朝日新聞社, 1995年, pp.83-93

「高階秀爾に聞く」(特集1ベネチアビエンナーレ審査報告), 月刊『ギャラリー』8月号ギャラリーステーション, 1995年, pp.60-63

「新しい文化立国をめざして」(小島美子×鈴木忠志×高階 司会:遠山敦子文化庁長官), 月刊『文部時報』9月号, ぎょうせい, No.1425, 1995年, pp.8-17

「INTERVIEW—高階秀爾 テクノロジーがアートを創るのではなく, アートが, あたらしいテクノロジーを生みだす」(ベニスビエンナーレ関連記事)『HVCニュース』No.39, 1995年, pp.2-7

「新しい時代の総合芸術センター」『地域と世界の芸術文化の未来』報告書, けいはんな学研都市フェスティバル'94実行委員会, 1995年, pp.58-66

「世紀末の音楽と美術」(遠山一行×高階)『世界美術大全集第24巻月報』, 1996年, pp.2-6

「知的情熱を支える驚異の博物館」(バルトルシャイティス著作本書評)『読売新聞』7面, 1995年1月29日

「ミイラにダンスを踊らせて」(トマス・ホーヴィング著作本書評)『日本経済新聞』20面, 1995年1月29日

「文化庁に期待する」『文化庁月報』No.319, ぎょうせい, 1995年, pp.6-8

「序」『記号の殺戮』(フランソワーズ・ルヴィアン著, 太田泰人×谷川多佳子×千葉文夫×廣田治子共訳), みすず書房, 1995年

「上野の山にグラン・ルーヴルを」『雑誌 東京人』(創刊100号によせて), (財)東京都歴史文化財団, 1996年, pp.92-93

高橋明也/Akiya TAKAHASHI

[展覧会企画・構成]

「1874年—パリ」[第1回印象派展]とその時代』展, 1994年

「オルセー美術館展 モデルニテ—パリ・近代の誕生」(東京都美術館, 神戸市立博物館他主催/国立西洋美術館学術協力), 1996年

[著書]

『1874年—パリ』[第一回印象派展]とその時代』(共著) 展覧会カタログ(国立西洋美術館), 読売新聞社, 1994年

『フォーヴィスムとエコール・ド・パリ』(共著), 小学館(世界美術大全集第25巻), 1995年

『オルセー美術館展/モデルニテ—パリ・近代の誕生』(共著) 展覧会カタログ(東京都美術館・神戸市立博物館), 日本経済新聞社, 1996年

『印象派はこうして生まれた/アカデミスムからクールベ, マネ, モネ, ルノワール』(共著) 展覧会カタログ(東武美術館), 東武美術館, 1996年

[論文]

「戦争から平和へ—1874年のフランスをめぐる美術と社会」, 展覧会カタログ『1874年—パリ』[第一回印象派展]とその時代』, 1994年, pp.3-9

「モデルニテの画家マネ」, 展覧会カタログ『オルセー美術館展/モデルニテ—パリ・近代の誕生』, 1996年, pp.29-34

「印象派に先駆ける画家たち」, 展覧会カタログ『印象派はこうして生まれた/アカデミズムからクールベ, マネ, モネ, ルノワール』, 1996年, pp.10-13

[翻訳]

アリベルト・コステネーヴィッチ著『エルミターージュ美術館—秘匿の名画』(共訳), 講談社, 1995年

[エッセイ, 作品解説など]

「社会現象としてのバーンズ展」, 読売新聞夕刊, 1994年4月8日
新収作品解説「エミール・ベルナル《吟遊詩人に扮した自画像》」, 『国立西洋美術館年報』Nos.25-26, 1994年, pp.17-20.

フランス地方ミュージアム巡り(20)「エクス・アン・プロヴァンスとグラネ美術館」, (21)「ゴーガンとボン＝タヴェン派」, (22)「コルマル, ウンテルリンデン美術館」, (23)「ストラスブール, ノートル・ダム寺院宝物館」(24)「ナンシー派美術館」, (25)「サヴォワ博物館とシャンペリー市立美術館」, (26)「トゥールーズ・ロートレック美術館」, (27)「ポー市立美術館」, 『Bon Voyage』Nos.62, 63, 64, 65, 66, 67, 68, 69, エール・フランス国営航空会社, 1994-95年
『国立西洋美術館平成6年度新収作品解説』「オノレ・ドミーエ《ラ・ファイエットはくたばった!…ぎまを見ろ!》」, 「フェリックス・ヴァロットン《にわか雨》」, 1995年

「夭折の印象派・バジール」, 日本経済新聞朝刊, 1995年12月18日

展覧会記録「フランス近世素描展—パリ国立美術学校所蔵ボラコヴィッツ・コレクション」, 『国立西洋美術館年報』Nos.27-28, 1996年, pp.30-31

展覧会記録「バーンズ・コレクション展」, 『国立西洋美術館年報』nos.27-28, 1996年, pp.38-39

「栈敷席の人々」, 日本経済新聞朝刊, 1996年1月12日

[口頭発表, 講演など]

講演会「エルミターージュ美術館のフランス・バロック, ロココ絵画について」(1994年10月8日, 東武美術館)

「オルセー美術館展」記念講演会『モデルニテの画家たち—マネを中心として』(1996年1月14日, 東京都美術館)

「オルセー美術館展」記念シンポジウム『近代生活の革命—モデルニテと現代』基調報告およびパネル・ディスカッション・パネラーとして(1996年1月16日 日経ホール)

文化学院講演会「美術館と展覧会」(1996年1月30日)

青山学院女子短期大学における研究会基調報告「19世紀の宗教美術」(1996年3月19日)

[その他の活動]

「ロダン, シンポジウム」(1994年10月10日, 静岡県立美術館)参加

『展覧会通信』「1874年—パリ」展, 朝日新聞夕刊, 1994年10月6日

外務省海外広報課招待スロヴェニア国営放送制作『日本の社会・経済事情』出演(1994年9月22日収録)

展覧会紹介講演『「1874年—パリ」展について』(1994年10月5日, 日本工業倶楽部)

文化庁近・現代美術専門研修会司会(1995年2月9日, 講師:面出薫)

文化庁近・現代美術専門研修会講師(1996年2月21日)および司会(2月22日, 講師:内藤廣)

屋外彫刻作品移動, 整備, 保存作業に伴う調査・研究

展覧会紹介講演「オルセー美術館展」(1996年1月23日, 日本工業倶楽部)

テレビ朝日制作『徹子の部屋』「美術館学芸員の仕事」出演(1996年2月21日放映)

東京芸術大学美術学部非常勤講師(1995年10月-1996年3月)

文部省在外研究(1995年4月-7月):オルセー美術館など

田中正之/Masayuki TANAKA (1996年1月採用)

[エッセイ]

「美術史を読む ノーマン・ブライソン, 絵画という記号」, 『美術手帖』, 1996年1月号, pp.126-146

「『美術史を読む』ためのキーワード, オリジナリティ」, 『美術手帖』, 1996年2月号, pp.128-129

「美術史を読む T.J.クラーク, 絵画とイデオロギー」, 『美術手帖』, 1996年3月号, pp.120-139

田辺幹之助/Mikinosuke TANABE

[著書]

『宗教改革時代のドイツ木版画』展カタログ, 国立西洋美術館, 1995年

[論文]

「聖堂内装としての木彫について—カルカー, ザンクト・ニコライ聖堂内装を例として」『聖なるかたち』展カタログ, 国立西洋美術館 1994年, pp.181-192(和文), pp.210-217(独文)

[エッセイ, 作品解説など]

Hans Weiditz, Christus als Schmerzensmann und Ecce Homo, in: *Glaube Hoffnung Liebe Tod* (herausgegeben von Christoph Geissmar-Brandt/Eleonora Louis), Wien, Kunsthalle, 1995, pp.95-96

「中世の教会を埋め尽くした聖人・聖女像」芸術新潮1994年7月号, pp.46-49

[口頭発表, 講演など]

博物館職員講習における講義, 国立教育会館, 社会教育研修所, 1994年6月

「ドイツ美術の中の死の舞踏」, 専修大学市民講座における講演, 1995年10月

[その他の活動]

Die Generalversammlung der Görres-Gesellschaft, die Sektion der Kunstgeschichte, “Die bewahrende Kraft des Luthertums, Mittelalterliche Kunstwerke in evangelischen Kirchen”, 1995年9月(会議参加)

「死の舞踏」展(2000年夏開催予定)のための予備調査
専修大学文学部非常勤講師(1995年4月-1996年3月)

寺島洋子/Yoko TERASHIMA

[著書]

『描かれたふしぎな世界を旅する』(セルフガイド/共著), 1995年

[エッセイ]

「公立美術館の解説ボランティア調査報告」アンケート調査報告書
美術館教育研究会共同執筆・編集, 『美術館教育研究』Vol.6, No.3, 1995年

「Learning How Visitors Learn: A Winterthur Experience」

(抄訳) アメリカ博物館協会の年次総会(1995年5月)で報告された講演の紹介『美術館教育研究』Vol.7, No.1 1996年, pp.16-20

[講義]

第7回近現代美術専門研修会, 1996年2月20日

[教育普及活動]

ギャラリートーク「描かれたふしぎな世界を旅する」, 1995年7月11日-9月9日

ワークショップ「描かれたふしぎな世界を旅する」, 1995年7月25日-9月1日

[その他の活動]

「美術館・博物館におけるボランティア活動」, 公開研究会企画, 美術館教育研究会, 1995年4月19日, 国立西洋美術館

「公立美術館の解説ボランティア」の調査, 美術館教育研究会, 1994年-95年

「平成6年度新収作品リーフレット」編集

「大英博物館所蔵イタリヤ素描展リーフレット」編集

「どうして像はつくられたの?」—子どものための美術展(1996年夏開催予定)のための調査・研究

「法隆寺献納宝物と正倉院の源流に関する調査研究」文部省科学研究費:国際学術研究, 東京国立博物館, 平成7年度調査に参加(1995年10月12日-24日, プータン, タイ)

波多野宏之/Hiroyuki HATANO

[著書]

『美術分野の文献・画像資料所蔵機関一覧 1993年3月現在』(共編)アート・ドキュメンテーション研究会, 1995年

『第1回アート・ドキュメンテーション研究フォーラム:美術情報と図書館 報告書』(共編著)アート・ドキュメンテーション研究会, 1995年

‘Tokyo: Bibliothèque universitaire de Waseda’, *Nouvelles Alexandries; les grands chantiers de bibliothèques dans le monde* (共著), Paris, Cercle de la Librairie, 1996.

[論文]

「フランスの美術情報システム」, 『人文学と情報処理』4, 1994年, pp.52-56

「アート・ドキュメンテーションの世界」, 『短期大学図書館研究』14, 1994年, pp.91-98

「西洋美術研究支援画像データベースと画像処理」, 『第4回メディア統合技術研究会予稿』(画像電子学会), 1995年, pp.11-18

「海外美術図書館研究入門・4 ロンドンの美術図書館」, 『アート・ドキュメンテーション研究』4, 1995年, pp.29-36

「アート・ドキュメンテーションの現状と課題 その2 総括と展望」, 『びぶろす』46(8), 1995年, pp.1-7

「画像ドキュメンテーションの新世界 1-12」, 『月刊IM』33(4)-34(12), 1994-95年

‘Image processing of iconographic material in art documentation; recent development in Japan’, *Bibliotecas de arte, arquitectura y diseño: perspectivas actuales*, München, K.G.Saur, 1995, pp.133-144.

‘Image processing and database system in the National Museum of Western Art, Tokyo; an integrated system for art research’, *Art libraries journal*, 21(1) 1996, pp.18-22.

[口頭発表, 講演など]

「美術館の画像ドキュメンテーション」, 川崎市市民ミュージアム・シンポジウム「動く映像とミュージアム」, 1994年5月

「ARLIS/UK & Ireland 1994; 英国の美術図書館と画像データベースの現況」, アート・ドキュメンテーション研究会第18回研究会, 1994年10月

「アート・ドキュメンテーション研究会5年間の活動の総括と専門職養成への提言」, 美術情報と図書館—第1回アート・ドキュメンテーション研究フォーラム, 1994年11月

「文化財としての写真資料保存と利用」, 日本新聞協会第27回資料管理講座, 1994年11月

「画像情報のデジタル変換と資料保存」, 日本図書館協会資料保存委員会第103回月例研究会, 1995年1月

「美術研究と画像データベース」, 全国美術館会議第3回シンポジウム「美術館と画像データベース」1995年2月

「西洋美術研究支援画像データベースと画像処理」, 画像電子学会第4回メディア統合技術研究会, 1995年4月

‘Five years of JADS’, 25th Annual Conference of ARLIS/UK & Ireland (Art Libraries Society of United Kingdom and Ireland), London, 1994. 4.

‘Visual resources in Japan; recent development of art documentation and the role of Japan Art Documentation Society’, 47th FID (International Federation for Information and Documentation) Conference and Congress, Omiya, 1994.10.

‘Image processing and database system in the National Museum of Western Art, Tokyo; an integrated system for art research’, 61st IFLA (International Federation of Library Associations and Institutions) Council and General Conference, Istanbul, 1995.8.

[その他の活動]

60th IFLA General Conference, Havana, 1994.8. (美術図書館分科会ワークショップ座長)

Conférence de la Sous-section des bibliothèques d’art de l’Association des bibliothécaires français, Grenoble, 1996.3. (会議参加)

「美術分野の文献・画像資料の所蔵等のアンケート調査」(アート・ドキュメンテーション研究会調査委員会委員, 1994年4月-1995年3月)

「西洋美術研究支援画像データベースと画像処理—欧米で開発された諸ツールのわが国における応用と作品研究」(文部省科学研究費補助金一般研究(A)研究代表, 1994年4月-1995年3月)

「新しい視覚情報開発のための民族誌映画の分析と活用」(国立民族学博物館共同研究, 1994年4月-1996年3月)

「西洋美術研究に資する画像情報資源の開発及び研究支援画像データベースの構築と共有化に関する調査研究」(平成7年度文部省在外研究, 1995年10月-1996年7月)

21世紀ギャラリー(仮称)建設に伴う新情報資料室設置計画

国立西洋美術館美術館情報システムの構築

国立西洋美術館情報資料懇談会の継続開催

慶應義塾大学文学部非常勤講師(1994年4月-1996年3月)

雪山行二/Koji YUKIYAMA

[著書]

「フランシスコ・デ・ゴヤ《巨人》—象徴されたスペインの悲劇」『名画への旅16 絵画と革命』(共著), 講談社, 1994年4月

『西洋絵画作品名辞典』(共著),三省堂,1994年5月(15世紀からゴヤに至るスペインとポルトガルの画家を担当)

「スペインのバロック絵画—スルバラン,ムリーリョとセビーリャ派」

『世界美術大全集16 バロック I』(共著),小学館,1994年6月

『新須磨コレクション スペイン・ヨーロッパ絵画』展覧会カタログ(共著),長崎県立美術館,1995年10月(序文「スペインとフランドル—須磨コレクションの一つの見方」,作品解説)

『ゴヤ—謎解きの旅』(共著),毎日新聞社,1996年3月

[口頭発表・講演など]

『ゴヤにみる芸術と風刺』,国立教育会館研修会,1995年2月

『美術においてスペイン的なものとは』,上野文化ゾーン・フェスティバル講演会,1995年10月

『美術館,その日,その日—国立西洋美術館のかかえる問題』山種美術館講演会,1996年1月

[書評]

デイヴィッド・M・ウィルソン『大英博物館の舞台裏』,「美術手帖」,1994年7月号

[その他の活動]

文部省在外研究(1994年5月-8月):マドリードのプラド美術館,国立図書館,国立銅版画館,ロンドンの大英博物館版画室において,ゴヤの版画および同時代のスペイン版画について調査・研究